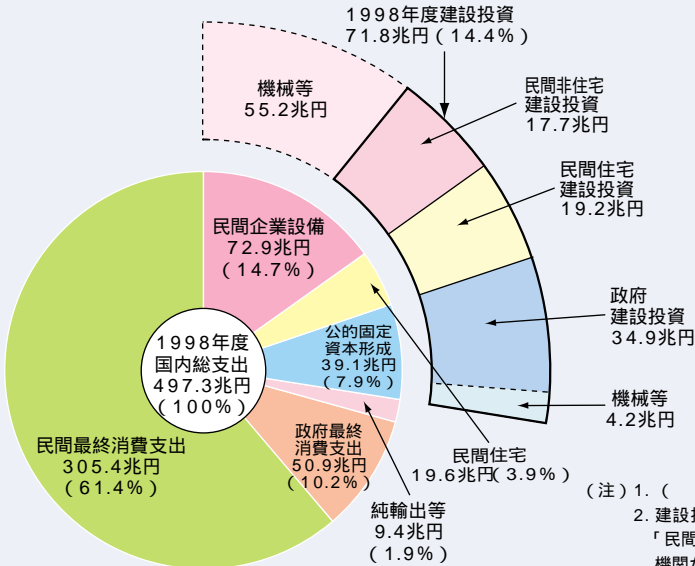


2 日本経済と建設業

国内総支出と建設投資

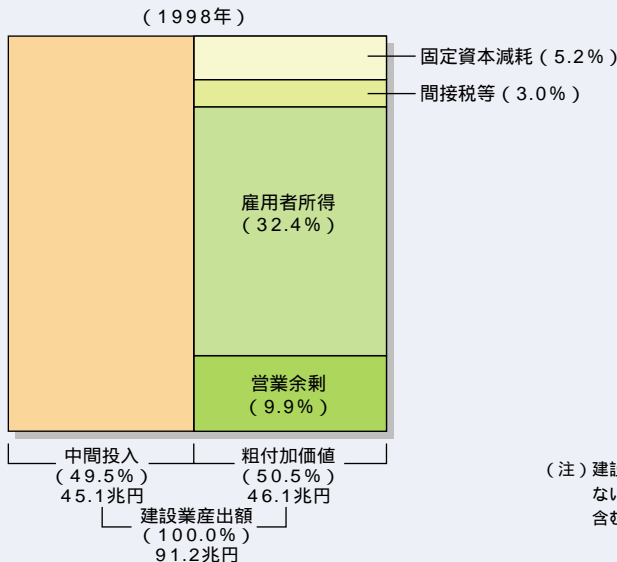


わが国の国内総支出のうち、70%強は消費支出であり、残りの大部分は固定資本形成（投資）である。固定資本形成は機械部分と建設部分とから成っており、この建設部分が建設投資に相当する。建設投資の国内総支出全体に占める割合は約14%である。

- (注) 1. ()内は国内総支出中に占める割合を示す。
 2. 建設投資中の「民間住宅」は国内総支出中の「民間住宅」と概念上は同一であるが、推計の機関が異なるため数値に若干の相違がある。

資料出所：経済企画庁、建設省

建設業産出額の内訳

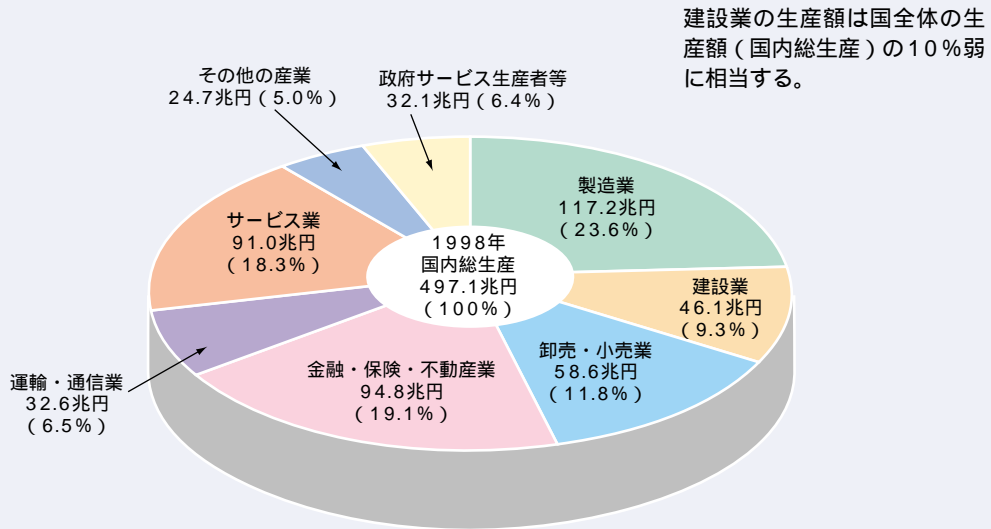


建設業は建設需要に対応して生産活動を行っているが、建設業の産出額のうち、50%弱が建設資材等の中間投入部分であり、建設業が新たに生み出した価値（粗付加価値）は50%強（1998年の場合46.1兆円）である。

- (注) 建設業産出額には、概念上建設投資にカウントされない中間消費（建設補修等、1998年6.4兆円）を含む。

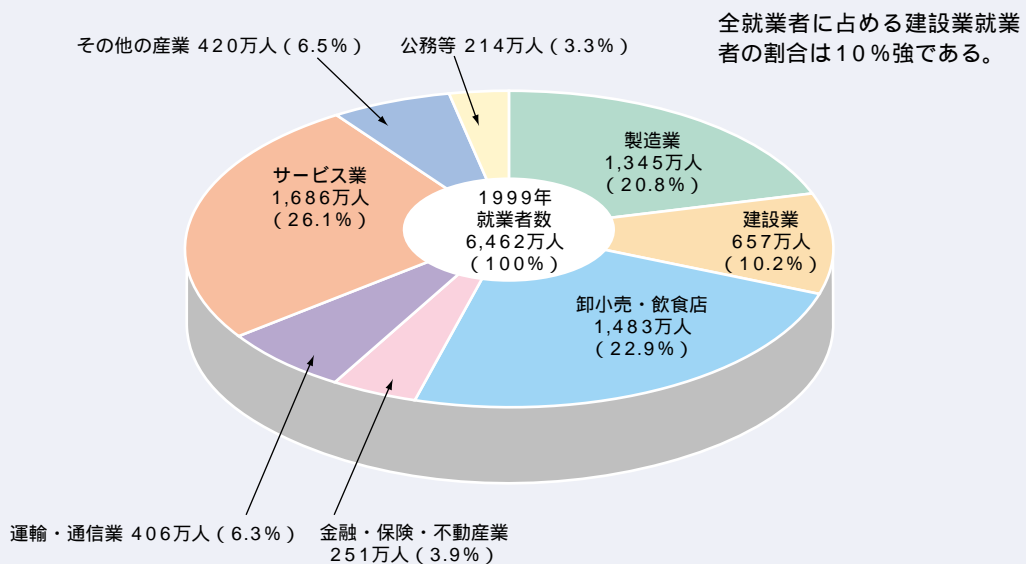
資料出所：経済企画庁

産業別生産額（粗付加価値額）



資料出所：経済企画庁

産業別就業者数



資料出所：総務庁